

令和7年7月16日

遠賀町内中小企業景況調査 (令和7年4月-6月期)

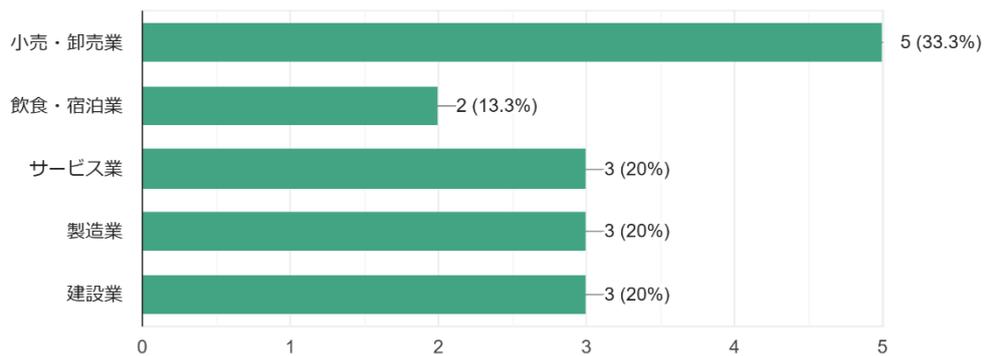
調査：遠賀町商工会

[調査要領]

- ①調査方法 遠賀町商工会 LINE 公式アカウントによる WEB 回答
- ②調査対象 遠賀町商工会会員事業所
- ③調査時点 令和7年7月1日

1. 貴事業所の業種を教えてください

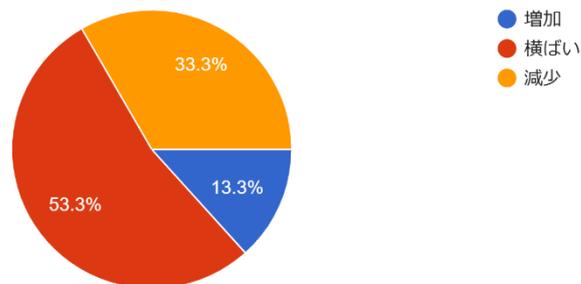
15件の回答



今回のアンケートは、約3割が小売・卸売業であるが、比較的業種のバラツキが少なく全業種から回答を得られている。

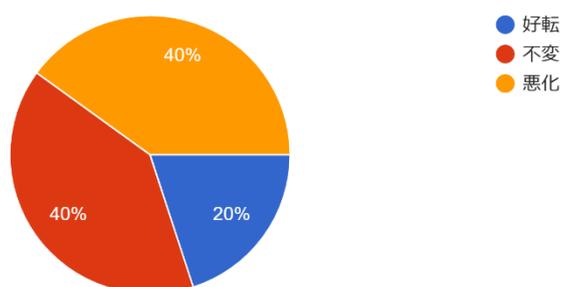
2. 現在の貴事業所の売上傾向についてお尋ねします。前年の同時期と比較して今はどうでしょうか

15件の回答



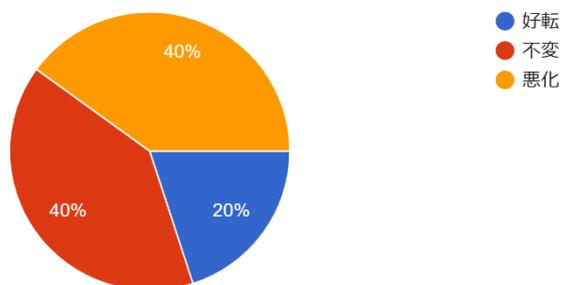
売上傾向については、前年同時期から殆ど変化が見られず、増加という回答が全体の1割にとどまっており、物価高騰を始めとした下振れ要因が改善されていない状況が見て取れる。

3. 現在の貴事業所の利益状況（所得）について...す。前年の同時期と比較して今はどうでしょうか
15件の回答



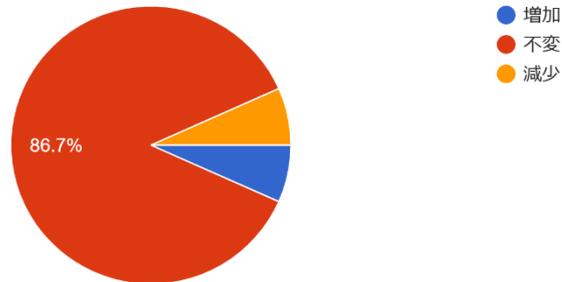
利益の状況についても売上の現状と同様の要因により、前年同時期からの改善が見られず、経済環境の影響を乗り越えるだけの力強さは見受けられない。

4. 現在の貴事業所の資金繰りの状況についてお...す。前年の同時期と比較して今はどうでしょうか
15件の回答



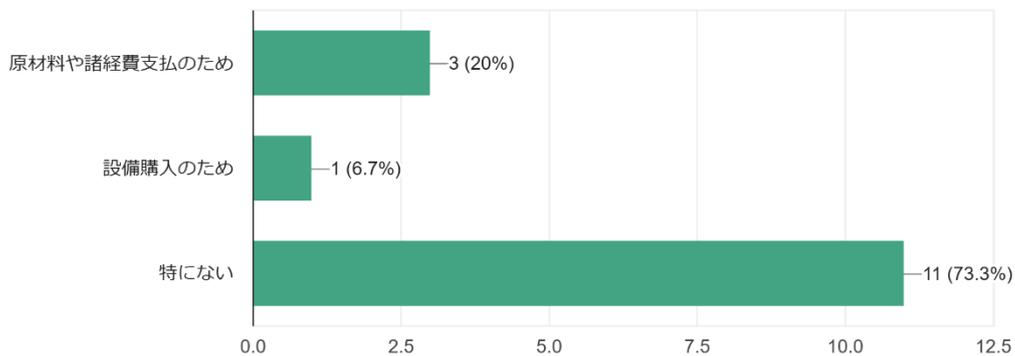
資金繰りについては、コロナゼロゼロ融資の返済が本格化していることも相俟って、前年同期より悪化したという回答が3割ほど増えている。この点については、何らかの形で国の支援策が望まれるところである。

5. 現在の従業員数についてお尋ねします。前年の同時期と比較して今はどうでしょうか
15件の回答



従業員数は、9割近い企業が不変と回答しており、構造的な人手不足が解消されていないにも関わらず、ほとんどの企業が従業員を増やせる状況にないことが見て取れる。中小・小規模企業としても可能な限り労働生産性の向上を図るための一層の自助努力が求められるところである。

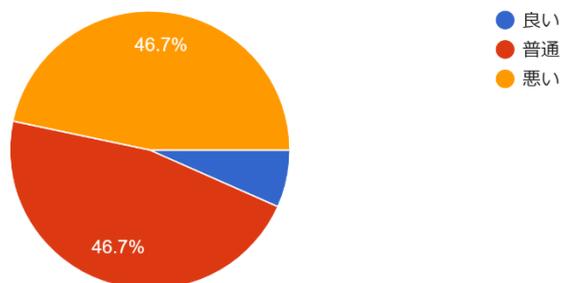
5. 現在、資金調達をする必要はありますか（複数回答可）
15件の回答



新たな資金調達については、前年同時期に比べて「原材料や諸経費しらいのため」という回答が増加しており、物価高騰が利益を圧迫する構造から脱しきれ状況が見て取れる。この点、中小企業の事業継続性の観点から、国の何らかの支援策が求められるところである。

6. 景況感について教えてください現在の景気をどう感じますか

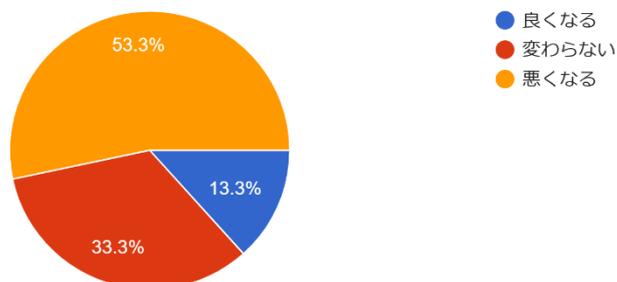
15件の回答



景況感については、前年同期に比べて「悪い」という回答が減少しているが、これは、今回の調査対象が前期の商業サービス業中心から全業種に満遍なく広がっていることが要因として考えられ、全体として良くなっていると感じられているわけではないと推測される。

7. 景況感について教えてください今後の景気の見通しをどう予測しますか

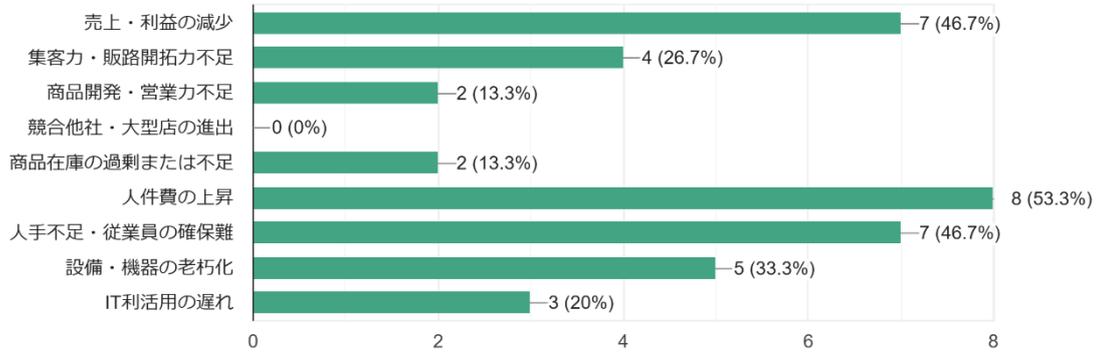
15件の回答



景況感の今後の見通しは、更に悪くなると回答した企業が半数を超えている。やはり、税制の優遇措置などを始めとする景気刺激策が期待されるところである。

8. 現在の貴事業所において、次の問題点・課題の中に該当するものがありますか（複数回答可）

15件の回答



課題として、「人件費の上昇」を挙げている企業が前年同期に比べて圧倒的に増加している。これは、国の賃上げ圧力もさることながら、従業員確保の観点から上げざるを得なくなっている企業が増えていることも要因として挙げられる。物価高騰が収まっていない現状に鑑みれば、国としては、中小企業向け賃上げ促進税制の活用などの検討も視野に入れて対策を講じる必要があると思われる。